

## Stage5

Charlie Smith, Superkid

スーパーキッド、チャーリー・スミス

作・エマ・リンチ

絵・ビル・グリーンヘッド

### <読むまえに>

お子さんが読むまえに、この本についてお子さんと話しましょう。

表紙と裏表紙をお子さんと一緒に見ましょう。ページをパラパラとめくって絵を見てください。このような質問をしてみましょう:

- ・この本にはどんなことが書かれていると思う？
- ・スーパーキッドってなんだと思う？ スーパーキッドはどんなことができると思う？
- ・このお話ではどんなことが起こると思う？

### <読んでいるときに>

自分のスピードで読めばいいよと、お子さんにいってあげましょう。

お子さんが単語を読むのにつかえたときは、次のようにうながしてあげてもいいでしょう:

- ・ことばを声にだして行ってごらん。
- ・その文章のはじめにもどって、もう一度読んでみよう。
- ・絵を見るとわかるよ。

### <ひっかかることば>

ここにあるのは、お子さんがこの本を読むときにひっかかりそうなことばです。

sprout 芽キャベツ

teatime お茶の時間

attacking 攻撃している

volcano 火山

newspaper 新聞

people 人びと

asked たずねた

### [p. 1]

スーパーキッド、チャーリー・スミス

作・エマ・リンチ

絵・ビル・グリーンヘッド

### [p. 2]

<名前:チャーリー・スミス>

チャーリー・スミスはスーパーキッドです。

### [p. 3]

<名前:スミス夫妻>

スミス夫妻は知りませんでした。

[p. 4]

お茶の時間のことでした。スミス一家は芽キャベツを食べていました。  
「マスクをはずしてちょうだい、チャーリー」、スミス夫人が言いました。

[p. 5]

「今日、ぼく、高層ビルのとっぺんまで飛んだよ。落ちかけている男の子を助けたんだ」、チャーリーは言いました。  
「芽キャベツを食べなさい、チャーリー」、スミス氏が言いました。スミス氏は新聞から目をあげませんでした。

[p. 6]

「ぼく、大きな火山から人を救ったんだよ」、チャーリーは言いました。

[p. 7]

「芽キャベツを食べなさい、チャーリー」、スミス夫人が言いました。スミス夫人は本から目をあげませんでした。  
「芽キャベツがぼくにスーパーパワーをくれるんだと思うよ」、チャーリーは言いました。

[p. 8]

チャーリーのベルトが光りました。  
「大変だ！ 巨大な虫が大きな街を攻撃している！」

[p. 9]

「街を守らなきゃ！」チャーリーは言いました。  
チャーリーは家から飛びだしました。  
「戻ってきて、芽キャベツを食べなさい、チャーリー」、スミス夫妻は大きな声で言いました。

[p. 10]

チャーリーは大きな街に飛んでいきました。  
チャーリーは虫からその街を救いました。

[p. 11]

チャーリーはその虫たちが暮らせる惑星を見つけました。  
「虫たちも、ここなら虫たちもだれも傷つけないだろう」、チャーリーは言いました。

[p. 12]

チャーリーは家に向かって飛びました。  
その途中、チャーリーは巨大な岩石から地球を救いました。

[p. 13]

「宿題はないのか、チャーリー？」スミス氏がたずねました。  
スミス氏は新聞から目をあげませんでした。

[p. 14]

「ぼくがどれぐらい速く飛ぶのか、作文を書かないといけないんだ」、チャーリーは言いました。

[p. 15]

「それなら、おとうさんが手伝ってくれるんじゃない」、スミス夫人が言いました。

[p. 16]

スプラウトマンはだれでしょう？

<読んだあとで>

読んだあとで、この本についてお子さんと話しましょう。こんな質問をしてみましょう：

- ・チャーリーにスーパーパワーをくれたのは、何だと思う？
- ・スミス氏はどんな人だということがわかった？
- ・この本を読んでどう思った？

この話をまた読んでみようとお子さんにすすめてください。読む自信をそだて、つかえずに読めるようになります。

<ほかにすること>

この本のことをくりかえし話題にしましょう。お子さんに想像力をはたらかせるように励ましてください！ もしお子さんがスーパーパワーを持ったら、どういうことになるでしょうね。